

# 年間プログラム編成事例

サタデースクールでは、「学習支援タイプ」・「地域人材活用タイプ」・「企業連携タイプ」・「体育振興タイプ」のプログラムを学校や地域の実情に合わせて実施します。  
実施回数は、年間10回程度としていますが、年3回以上であれば任意に設定できます。  
具体的なプログラム編成の事例を作成しましたので、各実施校での年間事業計画作成の参考としてお役立てください。

## 1 長期休業期間を活用したプログラム編成

1回目	体育振興
<b>「運動会前の走り方教室」</b> 講師例 近隣校の陸上部、NPO法人、アスリートなど	
2回目	学習支援
<b>「長期休業中の学習支援（夏休み）」</b> 講師例 教員OB、学生ボランティア、保護者など	
3回目	学習支援
<b>「長期休業中の学習支援（冬休み）」</b> 講師例 教員OB、学生ボランティア、保護者など	

### Point !

長期休業中は、平日開催も可能なため、児童・生徒も参加しやすい。

教職員の方々の負担も比較的少なく行えます。

長期休業の開始時や終了時に、生活リズムを整える効果も期待できます。

事例は、長期休業中の実施を中心に、人気の高い「運動会前の走り方教室」を組み合わせ、最小限の回数で実施する編成。

### 【長期休業中に実施されているその他のプログラム】

「水泳教室」、「スキー教室」（講師：体育振興会、NPO法人、地域人材など）

「自由研究教室」、「苦手克服 教科マスター講習」（講師：学生、教員OB、保護者など）

## 2 タイプを特化させたプログラム編成

3回～複数回	体育振興
「卓球」「バドミントン」 「ミニバレー」「サッカー」などのスポーツ教室	
講師例 体育振興会、NPO法人など	

### Point !

4つの学習タイプから1つのタイプのみ実施。

左記は、体育振興タイプのみ選択した例。

様々な競技を通し、1年間で体力向上を目指す！

各プログラムの講師として、地域人材のほか、企業や商店街組合、専門家を招いて実施する。

### 【タイプ別の主なプログラム】

#### ・学習支援タイプ

- 「自由研究教室」「苦手克服 教科マスター講習」
- 「漢字検定チャレンジ教室」「英語検定チャレンジ教室」
- 「英語教室」「音楽教室」ほか

#### ・地域人材活用タイプ

- 「生花教室」「茶道教室」「書道教室」「和太鼓教室」「陶芸教室」「英会話教室」
- 「紙飛行機教室」ほか

#### ・企業連携タイプ

- 「親子料理教室」「理科実験教室」「環境教育プログラム」「手紙の書き方教室」
- 「プログラミング教室」「職場体験プログラム」ほか

#### ・体育振興タイプ

- 「走り方教室」「水泳教室」「スキー教室」「野球教室」「フロアカーリング」
- 「縄跳び教室」「ストレッチ教室」ほか

### 3 地域の行事や人材を生かしたプログラム編成

1回目	地域人材活用
<b>「春の交通安全ミニ運動会」</b> （5月） 内 容：町内会や老人クラブ等との連携により、交通ルールやマナーをゲーム形式で学ぶイベントを実施する	
2回目	地域人材活用
<b>「スポーツ教室」</b> （6月） 内 容：体育振興会や地域の高校・大学運動部等の協力により、基礎体力向上のための、スポーツ教室を開催する	
3回目	地域人材活用
<b>「盆踊り・和太鼓教室」</b> （7月） 内 容：町内会の夏祭り参加に向け、地域の方を講師として、盆踊りの踊り方や和太鼓の叩き方の教室を開催する	
4回目	地域人材活用
<b>「地域防災教室」</b> （9月） 内 容：町内会との連携により、親子で参加できる避難訓練を実施する	
5回目	地域人材活用
<b>「秋のスポーツ大会」</b> （10月） 内 容：体育振興会の協力により、ミニバレーの楽しみ方を知り、ゲームを行う	
6回目	地域人材活用
<b>「音楽会」</b> （12月） 内 容：近隣の中学校吹奏楽部等の協力により、音楽鑑賞や演奏体験を行う音楽会を開催	
7回目	地域人材活用
<b>「初心者スキー教室」</b> （1月） 内 容：冬休みに地域住民や教職員のボランティアによる、初歩のスキー教室を実施	
8回目	地域人材活用
<b>「雪中運動会」</b> （2月） 内 容：PTAや児童会館と連携し、雪合戦やスノーキャンドル作りなどを行うイベントを開催	

## Point !

地域の既存行事の活用や、地域団体と連携したプログラムを実施。

企画・運営にサタデースクール運営協議会が参画し、共催で実施することで、双方の負担を軽減！

町内会としても、行事の運営スタッフ確保や子どもたちの参加促進に繋がるメリットがあります。

事例は、季節にちなんだ地域行事を取り入れたプログラムを、5～2月の間に、月1回程度のペースで実施する編成例です。

実施回数は、地域の実情に合わせて設定できます（最低3回以上の実施は必須です）。